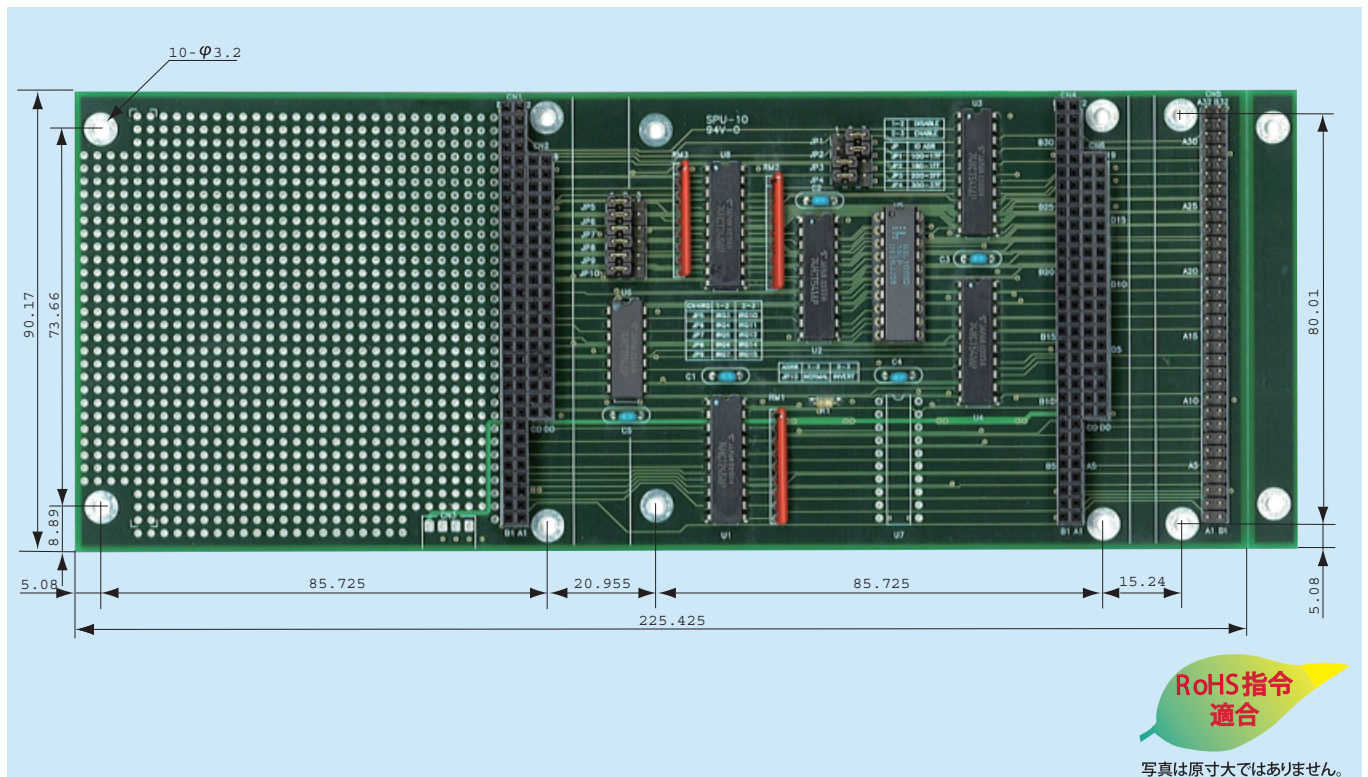


HT9070 I/O Bus Buffer



I/O モジュールを10枚まで接続

CPU モジュールに全てのI/O モジュールを積み上げずにシステムを構成できますので高さを低く抑えることができます。

16ビットモジュールに対応

CPU が16ビットバスモジュールの場合、8ビットI/O モジュールだけでなく16ビットI/O モジュールも使用できます。

割り込みリダイレクト機能

8ビットI/O モジュールの割り込み出力を16ビットCPU モジュールの割り込み入力に接続するジャンパが用意されています。

ユニバーサルエリア付

ボード上の空きスペースはフリーエリアとなっています。

製品構成

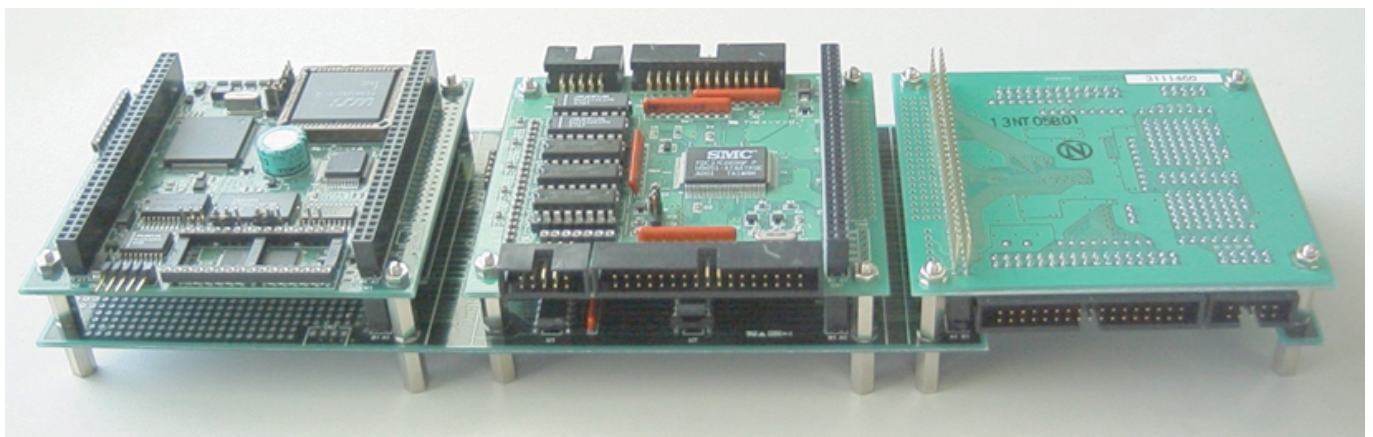
HT9070-U00

●HT9070-U00 《スタッド・ピッスナット4組付属》

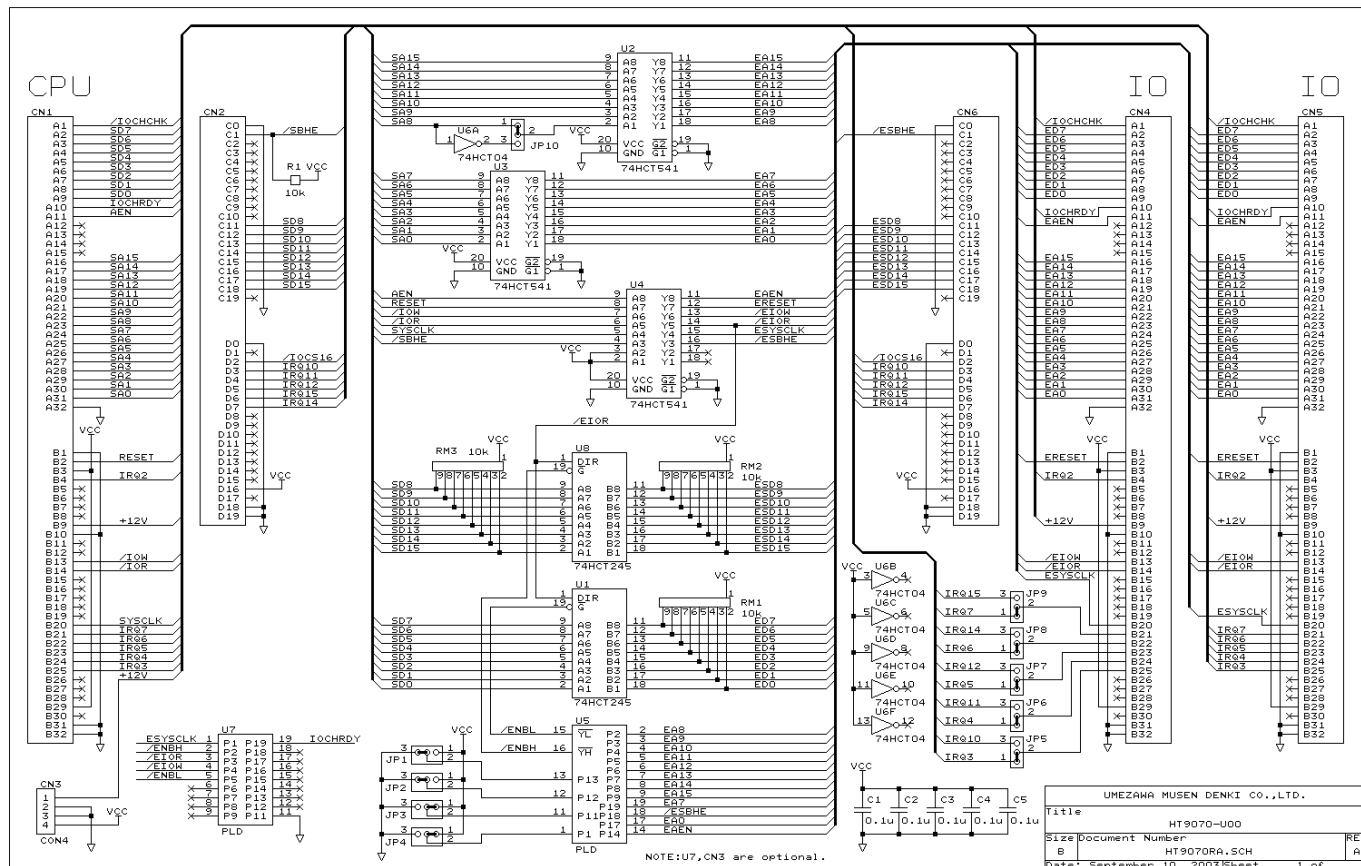
仕様

増設可能モジュール数	最大10枚
バッファアドレス範囲	100～17FH, 180～1FFH, 200～2FFH, 300～37FHをJP1～4で選択 ※A300～A3FFHは常にバッファ有効
使用可能モジュール	I/O 空間だけでアクセス可能なモジュール HT20x0、HT3010(COM/LPT)、HT3020、HT3030、HT3050、HT3060など
使用できないモジュール	DMAを使用するもの メモリ空間が必要なもの バスマスタとなるもの HT3010(FDC)、HT3040、VGA ボードなど
基板外形サイズ	225.5×90.2mm
電源電圧	5V±5%
動作温度範囲	0～75℃

使用例



回路図



テクニカルノート

バッファ有効アドレス範囲設定

CN4～6を使用して増設するI/Oモジュールが占有するアドレスは、CPUモジュール内およびCPUモジュール上にスタッキングして増設するI/Oのアドレス範囲と干渉しないようJP1～4で設定します。

ジャンパ	アドレス範囲	1-2	2-3
JP1	100～17FH	無効	有効(出荷時設定)
JP2	180～1FFH	無効	有効(出荷時設定)
JP3	200～2FFH	無効(出荷時設定)	有効
JP4	300～37FH	無効(出荷時設定)	有効

※なおJP設定にかかわらずA300～A3FFHでは常にバッファが有効です。

CN4～6に配線されていない信号

HT9070はI/Oバスのバッファを目的としているため、メモリアクセスに関連する信号やDMAに関連する信号は配線されていません。これらの信号を必要とするモジュールは、CPUモジュールにスタッキングしてご使用ください。

割り込みのリダイレクト

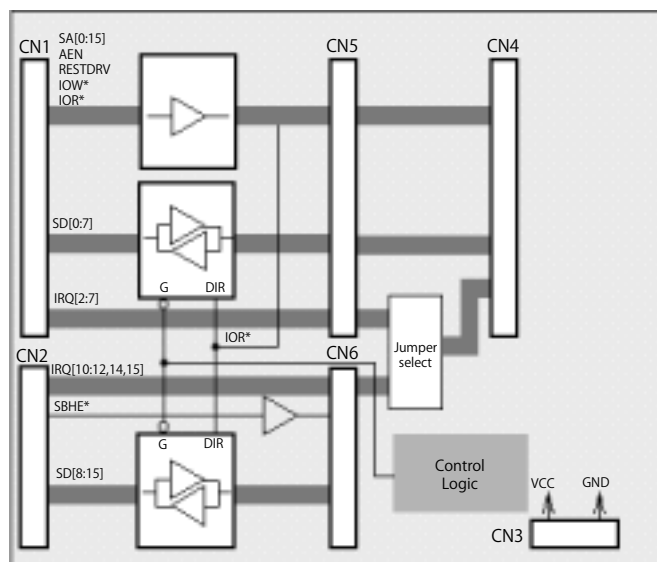
JP5～9を使用してCN4に出力されるI/Oモジュールの割り込み信号IRQ[3:7]を、CPUモジュールのIRQ[10:15]に切り替えて接続することができます。

ジャンパ	CN4 IRQ 番号	1-2	2-3
JP5	IRQ3	IRQ3(CN1)	IRQ10(CN2)
JP6	IRQ4	IRQ4(CN1)	IRQ11(CN2)
JP7	IRQ5	IRQ5(CN1)	IRQ12(CN2)
JP8	IRQ6	IRQ6(CN1)	IRQ14(CN2)
JP9	IRQ7	IRQ7(CN1)	IRQ15(CN2)

積み重ねに使用するスペーサ

15mmのスペーサ(弊社I/Oモジュールに添付)を使用して5枚以上のモジュールを積み重ねる場合は、寸法誤差の累積で基板にかかるストレスを避けるため0.5～0.8mm厚のワッシャを使用するか、15.5～16mmのスペーサをご使用ください。

ブロック図



安全に関する注意事項

本製品には一般電子機器用(OA機器・通信機器・計測機器・工作機械等)に製造された半導体部品を使用しておりますので、その誤作動や故障が直接生命を脅かしたり、身体・財産等に危害を及ぼす恐れのある装置(医療機器・交通機器・燃焼制御・安全装置等)に組み込んで使用しないでください。

また半導体部品を使用した製品は、外来ノイズやサージにより誤作動したり故障したりする可能性がありますので、ご使用になる場合は万一誤作動、故障した場合においても生命・身体・財産等が侵害されることのないよう、装置としての安全設計(リミットスイッチやヒューズ・ブレーカ等の保護回路の設置、装置の多重化等)に万全を期されますようお願い申し上げます。

取扱店

梅沢無線電機株式会社

東京営業所 101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-3-14 TEL03-3256-4491 FAX03-3256-4494
仙台営業所 982-0012 仙台市太白区長町南4丁目25-5 TEL022-304-3880 FAX022-304-3882
札幌営業所 060-0062 札幌市中央区南2条西7丁目 TEL011-251-2992 FAX011-281-2515

ホームページ URL [https:// www.umezawa.co.jp/](https://www.umezawa.co.jp/)

技術的なお問い合わせは
技術部直通 TEL/FAX



0120-024768